

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:植村

会議名: 平成30年度 第2回 Dホテルまつり・イベント促進プロジェクト

日時: 平成30年6月27日(水)午後7時30分から午後8時45分まで

場所: 玉津会館 会議室1

出席者: プロジェクトメンバー5名、<会館>主事

使用資料: 次第、平成30年度ホテル飛翔調査結果一覧、飛翔調査地図、H27~まるごと取組一覧、玉津学区活性化の実現に向けて(まるごと冊子抜粋)

議題

- (1)ホテル学習会・観察会感想
ホテル飛翔調査結果について
- (2)今年度の活動について
- (3)次年度以降の活動について

会議要旨

内容

(1)ホテル学習会・観察会感想

・学習会の開催に意義があり、うちわづくりも楽しくできた。親子を巻き込んで一緒にできるものがよい。
 ・十二里でも飛翔状況を調査したが、20日ごろが多く飛んでいた。学習会はまた来年もしたい。
 ・観察会では、矢島の最盛期にホテルを見ることができた。参加者にとっては衝撃で、思い出に残る光景だったのでは。実際にホテルの乱舞を見た子たちが、周りにどう伝えていくか、「もっと多くの人にみてほしい」という感想も参加者から聞け、地道ながらも広がっていくようにしたい。
 ・石田は地区計画の河川整備の関係で心配していたが、案の定飛ばなかった。どうしたら飛ぶのか、せっかく一生懸命調査してくれたこどもの取組に答えられるのか。
 ・石田はホテルが一か所か確認できていない。幼虫等を放流しても整備された川が多く環境がない、ホテルにとってそこが良いのか…。石田だけホテルが減っていくことが悔しいし、川も汚く、どうしたらきれいになるのか。
 ・石田の工事(河川整備)とはなにか?
 ⇒播磨田の方の地区計画で開発する際に、川の下にコンクリートをはらないと開発が進まなかったと聞いた。今までは川の堰をあけたり閉めたりで水を調整してくれていたが、担当が変わった?前までと雰囲気違うし、環境の変化によりコイもいなくなった。

(1)'ホテル飛翔調査について

・こどもたちはそれぞれ調査してくれたが、同じ日でも全然違う数だったりする。どの数をとったらよいか。

(2)今年度の活動について

・当初の計画でみていた「ホテル保護」に関しては何もしていないのでそれに関するものをしたらどうか
 ・眞田さんが畑に放流したヘイケホテルは出ていない。おまがりのヘイケも今年は全然ダメで、観察会を中止にされたほど。それも一つ残りの活動としてみては?
 ・研修等はこのプロジェクトでは行っていないが、他市のホテル保護の活動も参考に見に行ってもいい?
 ⇒今年度についてはひとまず、学区民のつどいでパネル展示をして飛翔調査の結果報告と学習会の様子を見てもらう。(学習会でこどもたちが作成したウチワを借りて貼ったらどうか)また、年明けごろより、次年度以降の活動について会議をする。

(3)次年度以降の活動について

・今のまま調査をしているだけでは…
 ・せっかく継続して少しずつでもホテルの取組が定着してきたなかで、5年でハイ終わりとして終了してしまうのはもったいない。こどもたちに関心を持ってもらうためにはやってもよいし、親子巻き込んでできるものがよい。
 ⇒裏面へ

会議要旨

内容

・学習会の矢島会場で、こども会とタイアップした様子にヒントを感じた。人もたくさん来てくれ、ああいうやり方をしなければ。

・もし継続していくのであれば、保護やこども、何をテーマにしていくのか。

・ヘイケが今年飛んだらもっとアイデアがでるのに。

⇒小学校の評議員会に参加した際、ヘイケとゲンジで関係した取組ができればという話もでていた。

・当初諏訪屋敷を活用したホタルイベントの開催も目指されていた。諏訪屋敷の今後についてはどのような状態か。

⇒諏訪屋敷に関しては、まず7月1日のオープン。事業計画には地元との連携など様々うたってはあるが、具体的に決めていかれるにはまだ少し時間が必要。将来的な活用は視野に入れる必要はあるが、現時点ではひとまず横に置いて活動を考えたほうがよいのでは。

・「まるごと活性化」はいつ終わるかわからない。ホタルの活動については地域での「保存会」という形が一番動きやすいし、他の人たちにも参加してもらいやすい。ただ、今すぐ「保存会」の形に持つていくことは難しいので、ひとまずまるごとで継続して、取組について考えていくなかで、最終的に保存会に移行する形がよいのでは。

決まったこと

＜今年度の活動＞学区民のつどいでのパネル展示と年度末ごろに次年度以降の活動について検討する。
＜次年度以降の活動＞まるごとは継続するが、経過的なもの。最終的には玉津の「ホタル保存会」にできるよう、進めていく。

次回以降について

つどいの前に必要があれば集まる。